

掛田自治協議会からのお知らせ 掛田の広場

第17号
2018年12月27日
掛田自治協議会
<発行責任者>
会長 佐藤隆昭



二階は特産品桐だんすの展示場になっていた



(株)サンプソン前で パチリ



菅家社長 地域活性化への思いを語る

今年の研修は、三島町に若者の作った町づくり会社「サンプソン」を訪ねました。「山村社会に革命を」の演題で菅家社長から、住みにくいから住みやすく、暗いからこそ明るい場所にしていく。三島町面白くする仕掛けを作っています。と会社設立の経過についてお話を頂きました。

昼食には社長自ら厨房に入り、ご当地自慢の温泉を利

研修『奥会津三島町を訪ねて』 10月14日



ヨツテミで合同研修

11月14日に登米市中田町「上沼コミュニティ運営協議会」の皆様（21名）が研修のため来町されました。

昨年秋、掛田自治協議会・NPO法人「ようぜん楽しもう会・（協）靈商スタンプ会の三者合同で登米市「とめ市民活動プラザ」（管理運営・NPO法人とめタウンネット）を訪ねて大変有意義な研修をさせていただきました。今回はその市民活動・プラザの紹介で視察研修が実現したとのことです。

「ヨツテミ」を研修会場とし、掛田自治協議会と地域の概要、健幸都市をめざす伊達市のモデル地区掛田での取り組みについて、「NPO法人りようぜん楽し

用した塩ラーメンをご馳走になり皆、満腹、満足。都會暮らしを経験した若者だからこそその力で頑張り、自分が育つたふる里を活性化しようという若者が三島町にはいました。私達も「次世代に残せる自慢の町づくりをしていこう」と奥会津の秋景色を見ながらの実り多い研修となりました。（佐藤吉彦）

宮城県登米市より視察で来町



街中を散策、楽しい交流のひととき、また来て下さい



「ヨツテミ」と「掛田まちなかサロンヨツテミ」の事業と運営、また昨年秋に、まちの駅「やすまんしょ」の「ミニスープ」立ち上げプロジェクトを企画し新規事業を実施してきたことの説明をしました。その他相互の事例紹介と質疑応答等熱心に研修されてから、街中を金子町ボケットパークまで散策されて帰途に着かれました。

古民家を改築したヨツテミの雰囲気と心の込もった茶菓の接待で皆さんに大変喜んで頂けました。

かさんが「環境を守るために私ができること」のタイトルで発表しました。前掛田小学校長酒井隆志先生から、「それぞれ素晴らしい発表であつた」との講評を頂きました。子ども達の発表をもつと多くの皆さんに聞いてほしいと感じました。

主張発表する大河内琉花さん

はつらつ教室
はつらつ教室（元気高齢者ふれあいサークル）では、9月21日、講師に「八島工房」の皆さんをお迎えして和紙や繭を使つた「まゆびな」「わらべ」「はし置き」を作りました。一番人気の「わらべ」は時間内に完成とまではいかず、みんな大変苦労していました。出来上がった作品はどれもすばらしく「シ

掛田婦人会「料理教室」
掛田婦人会主催の料理教室は、12月3日に靈山福祉センターで開催されました。講師に㈱明治の栄養士さんを招き、

17号をお届けします。
この一年間、皆さんのご協力誠にありがとうございました。来年もまた、地域の情報やご意見をどしどしお寄せください。

来年は「猪一亥亥年」になつてほしいものです。良い年をお迎えください。

平成30年もあとわずかとなりました。「掛田の広場」第17号をお届けします。

この一年間、皆さんのご協力誠にありがとうございました。来年もまた、地域の情報やご意見をどしどしお寄せください。

春には、たくさんの花が咲き、交流館を訪れる皆さんの笑顔が待ち遠しいところです。

編集後記

花いっぱい運動

花いっぱい運動として、靈山地区緑化推進委員会から掛田自治協議会に配布されたチューリップの球根とビオラの苗を利用の大さをあらためて感じました。実習は旬の鮭や春菊を材料に、鮭とジャガイモのコロッケ、カマンベール



カルシウムの大さを改めて学びました



花いっぱい運動の植栽完了

「ヘルシー和風料理」に挑戦しました。始めに栄養士さんから乳製品摂取での体への影響を学び、毎日の食事に乳製品を利用の大さをあらためて感じました。実習は旬の鮭や春菊を材料に、鮭とジャガイモのコロッケ、カマンベール

チーズ入り茶碗蒸し、春菊変わりごまあえを作りました。メニュには、チーズや牛乳を上手に利用し、骨粗鬆症予防と体力づくりに活かそうと思った料理教室でした。（会長 八島良子）

